

令和元年度 第1回 桜川市総合教育会議議事録

1. 日 時 令和2年2月26日（水）午後2時55分～

2. 場 所 大和中央公民館 2階大会議室

3. 出席者

（構成員）大塚市長、梅井教育長、大島教育長職務代理者、
野村教育委員、小林教育委員

（事務局）柴市長公室長、佐藤教育部長、秋山市長公室次長兼企画課長
栗林教育委員会次長兼学校教育課長、学校教育課荒井総務G長、
佐谷企画・適正配置G長、飯村主任、石塚主事
企画課稲葉企画G長、鶴見主幹（記録者）

4. 内 容

○司会

ただいまから令和元年度第1回桜川市総合教育会議を開催いたします。初めに、大塚市長よりあいさつをお願いいたします。

○市長

皆さま、こんにちは。

かねてから懸案事項となっております「羽黒小学校と猿田小学校の統合について」、後ほど担当より説明いたしますので、内容をご理解いただき、忌憚のないご意見を頂きたいと存じます。

本日は、本案についてご審議をよろしくをお願いいたします。

○司会

次に、資料の確認ですが、「本日の会議次第」、「羽黒小学校・猿田小学校の統合について」、「今後の予定について」、「（仮称）羽黒小学校・猿田小学校統合準備委員会組織(案)」、「令和2年度 猿田小学校児童の所在地」以上4部となります。

それでは、協議事項に入りたいと思います。桜川市総合教育会議設置要綱第4条の規定により、市長が議長をすることに定まっております。会議の進行を大塚市長をお願いいたします。

○市長

それでは、議長を務めさせていただきますので、ご協力をよろしく申し上げます。協議事項「羽黒小学校と猿田小学校の統合について」説明をお願いします。

○栗林教育委員会次長

羽黒小学校と猿田小学校の統合について、ということで資料が4部ございます。これまでの経過、経緯また今後の予定について、佐谷グループ長から説明させていただきますので、よろしく申し上げます。

○佐谷 G 長

「羽黒小学校と猿田小学校の統合」について説明。

○栗林教育委員会次長

ただいま G 長から「これまでの経過」「今後の予定」について説明がございましたが、先ほど教育委員会の臨時会におきまして、令和3年4月を目途にということで協議がされました。教育委員会の中で、その方向で進めていくということになりました。今回、この総合教育会議の中でそのような形になれば、羽黒小学校と猿田小学校の統合準備委員会をすぐに組織しまして、令和3年4月統合に向けて進めていきたいと思えます。以上です。

○市長

ただいま、説明がありました。これについてご質問、ご意見等がありましたら、お願いします。

○野村委員

羽黒小学校のような通常学級と猿田小学校のようないわゆる小規模学級の場合であっても、一年間を通した教育活動について差異はないと思えます。もし通常学級と小規模学級の違いがあるとすれば、個別指導だと思えます。どうしても人数が少なければ、先生が目が十分に届くということで、個別指導の徹底ができるのは、少人数の指導だと思えます。私が考えているのは、統合にあたっては、教育の格差といいますか、そのようなものが生まれないようにお願いしたいなと思えます。

併せて、先ほど統合準備委員会の案がありましたが、その中に学校生活分科会という組織があるわけですが、その中で先ほどのような話し合いがあってもいいのかなと思いました。

○梅井教育長

先ほど野村委員さんからありましたように、指導面については、今日の資料の組織案の中にもありますが、前に準備委員会立ち上げた経験からも、今お話しいただいた内容について、なるべくしっかりと詰めていく必要があると思います。

○市長

英会話については、羽黒小も開通するはず。猿田小学校の子達も羽黒小でやっ
てはどうか。

○佐藤教育部長

次年度の予算になります。岩瀬東中学校区の3校に開通予定です。

○栗林教育委員会次長

猿田小学校を合同で行うこともできますが、猿田小学校は人数が少ないので
長期間ではなく何週間かで実施することができます。また猿田小学校の子達を
羽黒小学校でというのもできます。

○市長

通学安全分科会での話になりますが、現在の猿田小学校の子供達は認められ
た(スクールバス)として、今後は曾根団地の子達の話になってきます。だから
2.5km 以内の子達は歩いてもらうということになります。とりあえず今の子達
を全員ということでしたので、何年間かはということにしないと。そこから先は
猿田小学校より先の子以外は、歩いてもらうという流れを作らないと、この先で
おかしくなります。非常に難しいですが、とりあえず今の子供達がいる間はとい
うことになると思いますが、あまり甘い話ばかりだと後々継続が困難になって
くるのではないのでしょうか。

○佐藤教育部長

今回の議会の一般質問でもありますが、通学支援が継続できないような進め
方ではまずいと思いますので、やはり持続性のある通学支援ができるような進
め方、やり方をきっちりと提案して、それに従っていただくということで打ち出
していかなくてはならないと。それには分科会でもんでいただくという方向で
す。

○市長

協議事項については以上でよろしいですか。

それでは、協議事項については以上であります。ありがとうございました。

○司会

ありがとうございました。次にその他でございますが、事務局からは提案がございません。委員の皆様から、ご意見がありましたらお願いします。

○小林委員

羽黒小学校と猿田小学校の話が決まってきた中で、これから考えていく、桜川中学校と大和中学校の件について、保護者から考えてほしいとありました。その中で、桜川中学校に今度上がる子が42名でなんとか2クラスは保てたということですが、再来年度は29名か30名しかいないので、桜川中学校は間違いなく1クラスになってしまうのかなと思います。また大和中学校も再来年度は45名若しくはさらに少なくなってしまうと思います。今回大和中学校区でも、私立とか下館一高の中高一貫校に行ったということで、4名近く減ってしまう。また転校なども考えると、大和中学校も再来年度は1クラスになる可能性がある。

今後十年を目安に2つか3つかという話で、予算や考えなくてはならないこともあるので、現状の子供達のこととも考えてあげなくては行かないのかなと自分も思いまして、その中で保護者の意見ですが、中学校は桜川中学校に大和中学校が統合したとして、小学校はそのままで、中学校の部活動や学校の授業などを保てれば、小学校は今のままで中学校は一つにしてほしいという意見がでいたので、ここで話させていただきました。

○市長

新年度に入ったら、総合教育会議を開いていただいて、今後の桜川市の学校の在り方は、総合教育会議で教育委員の皆様のご意見を伺いながら、方向を出さなければならぬと思っています。さきほどの小林委員のご意見はいい話ではありますが、桜川中、大和中が統合して一つになったとして、10年後には桃山学園と統合した中学校のどちらもクラス替えができなくなる。市としては、2つか3つだと。(中学校数) 3つでいいとは思いますが、それで進めますという方向を、教育委員の皆様のご理解をいただいて、10年後の方向を出していきたいと思っています。10年後はこのようになりますので、3つで行きます。難しいとは思いますが。そして3つの形に向けて進めることに関しては、市としては協力して進めてまいります。住民の皆さんから盛り上がってもらわないとまとまらない。市としては方向を出して、盛り上がったところからやりましょう、という方向で進めたい。桃山学園とラスカ周辺と長方・高森周辺で3つという方向だけは出していきたい。現状を見て、桜川中と統合というのはいいんですが、そうなる

とまた10年後にどうするという話になりますので、ここでこの話をして、10年以内にまた同じ話をするというのはいかなものかと思しますので、ずいぶん前向きな意見もいただきましたが、提案のあった統合を行ったとして、10年後同じことをするよりも、10年後を見据えた形を出すべきだと思います。

これを見据えて4月以降に協議して、将来のあるべき姿を出していこうと思っております。

○小林委員

ひとつ気になったのが、一クラスになると先生の数が減ったり、部活動が減るといったことはありますか。

○梅井教育長

教員の人数は減りますが、部活動の数は今でも考えなくてはならない時期に来ているので、それも合わせて考えていくということです。必ず部活動の数が減るといったことはありません。教員の数については、家庭科の先生や美術の先生などは、今の6クラスでも定数は0となっています。そこに特別支援の先生などが入りまして、美術の先生が、家庭の先生が特別支援学級を持って、美術や家庭科などもする。という形で全教科をカバーしているので、教科のカバーとはそのように行っております。

○小林委員

保護者の中では、部活動だけでも一緒にできないかとの話が出ていますが、先ほどの市長の話のように、桜川中と一緒にするという確実なものはないわけですから、難しいですね。

○市長

無理して桜川中と統合しても、10年後にはまた、一クラスになって部活動はどうするという話になると思うので、また役所が先導して進める話でもないので、将来を見据えて方向性だけは出しておきたい。それで、部活動などがどうにもならないので、進めて欲しいとの声があれば進めていきたい。話が盛り上がったところから進めましょう。ということになると思います。

今回の件も、一昨年に会議で話し合いを進め、その時のPTAの役員さんの決断で進んだ話ではありますが、将来を考えたらちょっとおかしいとも考えられるので、進まなかった経緯もあります。大変申し訳ないのですが、人数が揃わなければ成り立たないわけですから、将来の市の方針を決めるべきだと思います。それを進める、進めないはPTAの皆さんがどの様にしたいのかということで投

げかけてみる事が一番いいのかと思います。

市の方針をはっきりしたいのですが、あまり早く方針を出してしまうと、今回の件があったので、これはこれで早くやらないといつになるかわからなくなってしまうので。今後は南飯田小とはどうするという話もしばらくは決着つかずだと思います。とりあえずできることからやりましょうということで進めてきたので、父兄からもこの先どうするという意見もありました。市としても方針は出していきたい。しかし方針であって、それがまとまるかどうかは、PTAの皆さんの声や市民の皆さんの声があって動く話なので。

○栗林教育委員会次長

準備委員会については、4月にはPTAの役員さんも交代となってしまうので、4月中に設立していきたいと思います。

○佐藤教育部長

今回の決定は議会にも正式に方針が決まった旨の報告、また一般住民に対しても広報紙等と使って周知していきたいと思っています。

○梅井教育長

部活動に関しては、今現在もそうですが、各中学校の部活動で、人数が足りる足りないはありますので、一緒に連合を組んだり、市外と組んでやっているとこもありますので、柔軟にチームを編成することは今現在もやっております。

○小林委員

保護者の中では、今年はここで連合を組んでやるが、来年は違う学校と組むことになるというのが、一番困っているとの意見がありましたので、そこを何とかしてあげたいと思いました。

○市長

若しくは、大和中が一旦桜川中と統合し、5年後にまた桃山学園と統合するという流れを創るか。非常に難しいところですね。

また、長方・高森地区はこれから人口が増えていくと考えています。今後増加の見込みがあるのはこの地域だけなので、ここは外さずに進めていきたい。それに向けて教育会議を開催して、決定していきたい。そこから先はPTAの皆さんや地域の皆さんの話がまとまらなければ進められない。役所でできる話ではないと思います。

○司会

ありがとうございます。他にご意見ございますか。

○大島職務代理者

終わったことですが、本日の資料「これまでの経過」で12月5日の嘆願書のところで「統廃合」という言葉があります。統廃合という言葉が、人によっては気になることもあるのではないかと思います。統合という言葉だけを表に出していった方がいいのではと感じましたので、ここで確認をしておきたいと思います。

○栗林教育委員会次長

嘆願書自体が「桜川市立猿田小学校の統廃合を求める嘆願書」ということでいただいておりますので、今後は「二校の統合」についてということで進めていきたいと思います。

○司会

それでは、以上をもちまして第1回総合教育会議を閉会といたします。ありがとうございました。